

絵手紙①

2022年1月号(もくじ)

絵手紙は
「ヘタでいい ヘタがいろいろ」

絵手紙ニュース

柏江駅に2枚目となる
巨大絵手紙が登場！

*詳細は52頁をご覧ください



幸せトラスで良い年に！



01 編集小池邦夫が「文化庁長官表彰」を受賞
02 山田喜代春の詩画世界

04 日常こそ面白い
漫画家・長谷川町子

23 柳宗悦の眼に映る
場の線

24 柳宗悦の眼に映る
白土慎太郎

26 登坂和雄の「語一絵」(追稿)

28 手紙のヒント 中川雄

30 編集奈良・公認講師全国大会の絵手紙を奉納
読者投稿ひろば

34 (ライム)モノクロの世界

自由絵手紙・なんでも100字・活動報告

52 絵手紙ニュース1 柏江駅に巨大絵手紙登場！

53 木れ日「絵手紙のカタチ」 浦川平島

54 誌上レッスン 絵手紙教室

◎小池邦夫の絵手紙

◎小池邦夫の絵手紙教室「絵手紙の大事なこと」

「一人で書きながら二人に込めた意味とは」

◎藤原英子のキリッと発信のキリッ講座
絵手紙の「いい言葉」をどう使うか

◎内藤智子の絵手紙時評記 絵のまわり道
筆始——大きな紙の手紙

64 書道博物館の宝もの 中村信宏

66 さとみアーサー・ピナード

68 絵手紙のすけ
臨活クイズ 嵯峨優也

72 絵手紙ニュース2 「絵手紙の流儀」が新聞に掲載！

◎日本絵手紙協会からのお知らせ

74 友の会NEWS (字色) 絵手紙友の会全国大会in水戸

77 アンケートご協力者大募集!! (第1弾)

78 日本絵手紙協会(講座のご案内)

80 展覧会のご案内

82 あなたの街の「絵手紙展」

83 2022年度講座開催予定について

84 投稿の募集要項

86 小池邦夫絵手紙美術館「ニュース」

88 資料国際絵手紙タイムカプセル館日より

90 日本絵手紙協会・推薦教材

92 春贈りの報告とお祝い/異出教材

93 日本絵手紙協会の地図

94 「絵手紙友の会」からのお知らせ/編集後記

95 月刊絵手紙「定期購読のご案内」

96 ご注文方法

次号予告

詩人・野口雨情

おうちでプラスワン講座

全3回「藤原英子のキリッと発信! 「聴く」講座」募集中!

*詳しくは今月号に同封のチラシをご覧ください。

配信期間/1月21日より順次~4月6日まで

申込締切日/2022年3月31日必着

(表紙の絵手紙)

小鳥:木田瑠子(神奈川)

果物:栗 吹江(埼玉)

文字:竹村節子(兵庫)

(本頁の手作りの虎の玩具)

成田秀子(愛知)



「様子さん」執筆中の長谷川町子 昭和26年(1951)



日常こそが面白い



長谷川町子

協力・編集委員 長谷川町子美術館

漫画家



あらゆる時代に愛される「サザエさん」。
その暮らしぶりには長谷川町子が生きた昭和の時代が
イキイキと描き出されています。
日常のなげない情景や誰にでもある面白さを
独自のまなせしですくい上げ、発表し続けた長谷川町子。
ペン一本から生み出される広い世界から
たくさんヒントをもらいましょう。





門崎義子(宮城)
思い出のカップ、熱いコーヒー
が仮合う季節になりました。



中塚伸子(東京)
鍋の中で蒸らすらたき、温かさ伝えたい。

— 際立つ線 —



土田正子(63歳・新潟)
なかなか出来ません。コッ
コツやるしかありません。



阿保志保子(宮城)
「放っておいたらきれいに開いたわ」と、
お仲間提供のモチーフ、椿の実。



宇貝千代子(東京)

読者投稿

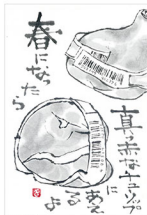
はがきにのって
みんな集まれ

ひろば

テーマ **モノクロの世界**

線がひきたつ白黒の世界、
あなたならどう表現しますか。

自由絵手紙・なんでも100字・活動報告



石川京子(埼玉)



小柳富士子(千葉)
どうでもいいことを議論した学生時代が懐かしい。



板東スエコ(東京)



安藤郁子(75歳・愛知)



橋本米子(福島)



佐藤典弓(北海道)



東郷千恵(和歌山)

自由絵手紙

私の日常何でもモチーフ



辻 朝子(北海道) 世界自然遺産知床は、秋絵巻と 観光客でにぎわっています。



徳久アキエ(78歳・大阪) 退院して自宅で主人と2人で食べる幸せ。



福島義則(82歳・大阪)



近本三子(石巻・兵庫) 茅葺の家の縁側に居るおかげで ちも寒くなく座って写真を攝 りました。



室 美穂子(白根)



佐藤多喜子(秋田)



矢尾美恵子(埼玉) 毎年150個位採れます。



玉利真美子(神奈川) 長く使っていないとセキュリティのため 自動でロックがかかるそう。



河原裕子(79歳・千葉)



山田 裕子(山口)

旅先からのたより



金子洋子(神奈川) 5回目の松山、行くたびに好きになります。